

### 密集市街地の改善など防災上安全なまちづくり

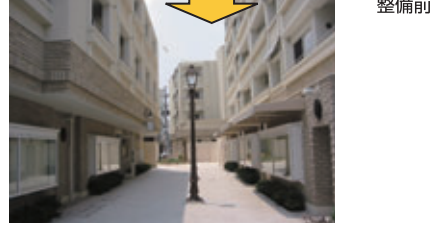
福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重  
門真市北部地区

老朽住宅の密集、公共施設の著しい不足等が認められる住宅市街地において、老朽住宅等の除却、建て替え、公共施設の整備等を行うことにより、防災性能の向上、居住環境の改善を図ります。合わせて、住宅・建築物の耐震改修等も行うことで、地震に強いまちづくりも並行して進めています。

門真市地区は、京阪電鉄本線の駅周辺に経済の高度成長期である昭和30年代後半から40年代前半にかけて、大阪都市圏への受け皿として、都市基盤施設が未整備のまま木造集合住宅密集市街地が形成されました。そのため、国道163号以北(461ha)区域を「門真市北部地区」として、昭和59年より密集市街地改善として取り組んでいます。

平成18年度は、全重点地区9地区の内、5地区を中心に、下記改善目標をのものと事業の推進を図ります。

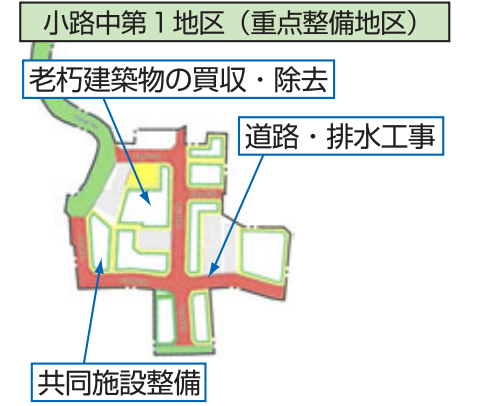
改善目標	
■戸数密度	91.2戸/ha → 80.0戸/ha
■不燃領域率	27.0% → 40.0%
■老朽木造住宅の割合	44.8% → 30.0%



#### 住宅・建築物耐震改修等事業

これまで、耐震診断や耐震改修、住宅や建築物にそれぞれ分かれていた耐震関係の補助事業が、平成17年度より統合化され「住宅・建築物耐震改修等事業」となりました。

平成18年度においては、住宅以外の公共施設、学校等においても耐震診断、耐震改修の推進を図ります。



凡例	
平成18年度計画	■
平成19年度以降	■

小路中第1地区(重点整備地区)整備内容

### ユニバーサル社会の実現のための社会基盤づくり

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重  
神戸市、奈良県、堺市、和歌山県

すべての人が持てる力を発揮し、支え合って構築する「ユニバーサル社会」の実現に向けた取り組みの一環として、社会参画や就労などにあたって必要となる「移動経路」、「交通手段」、「目的地」などの情報について、「いつでも、

どこでも、だれでも」がアクセスできる環境をつくっていくことを目的としています。平成18年度は、平成17年度に策定した技術仕様書(案)をもとに、地方自治体等と連携して、一定地域での試験的運用を行い、システム全般に

関する評価、新技術の性能確認を行うとともに、技術仕様書(案)の改善・更新を図り、実用化に向けた取り組みを推進します。

多言語での情報提供により外国人にも親切に案内  
車いすが通行可能なバリアフリールートを検索・案内  
情報ダウンロード拠点で店舗や施設の最新情報を取得  
携帯情報端末間で緊急時にSOSを発信・受信  
利用者の属性に応じた適切な方法で情報を提供  
視覚障害者誘導用ブロックを活用し目的地まで誘導

奈良県(奈良公園周辺)  
2010年(平成22年)の「平城京1300周年記念事業」開催時までにユビキタスな環境を整備することを目標に、平成18年度は奈良市内において利用者に位置情報、経路情報、施設情報、観光情報等を提供する試験的運用を行います。

堺市(大小路通り周辺)  
「自転車のまち」の特性を活かし、自転車やシェアカーの利用者等に経路情報、観光情報等を提供する試験的運用を行います。

神戸市(神戸空港・旧居留地周辺)  
神戸空港内及び鉄道エリア～空港エリア間のスムーズな移動を検証する試験的運用を行います。また、昨年度に引き続き、旧居留地周辺(主に南京町)において実運用を見据えた仕様書の改善・標準化のための技術的検証及びシステムの利便性に関する試験的運用を行います。

和歌山県(熊野古道周辺)  
世界遺産登録された「熊野古道」の熊野郡智度大社周辺において、外国人観光客をはじめとする全ての地理不案内者に対して、多言語を含めた観光情報等を提供する試験的運用を行います。

平成17年度実証実験  
プロジェクト推進にあたり、国際観光都市である神戸を舞台に実証実験を行いました。

自律移動支援プロジェクト サービスイメージ

平成18年度の整備(試験的運用[実証実験])内容

### 堤防強化対策、浸水被害対策

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重  
淀川、大和川、寝屋川

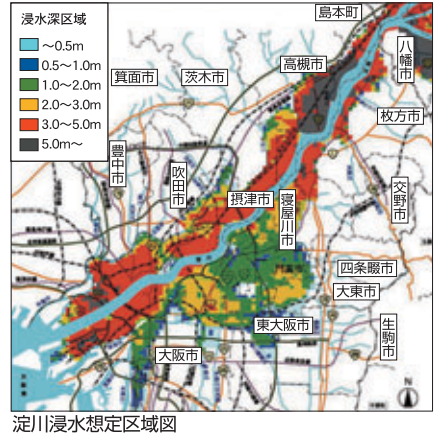
#### 堤防強化対策

大阪平野の大部分は、淀川や大和川の洪水時の水位より低い位置にあり、万一、淀川や大和川堤防が破堤すると壊滅的な被害を受ける恐れがあります。

そこで、人口・資産が高度に集積した大都市の被害を未然に防ぐため、計画を上回る洪水に対しても破堤しない幅広い堤防(堤防高の30倍)を市街地と一体となって整備する高規格堤防整備事業(スーパー堤防整備事業)を、特に淀川及び大和川に挟まれた大阪の中核部を防御する地区を重点的に実施します。

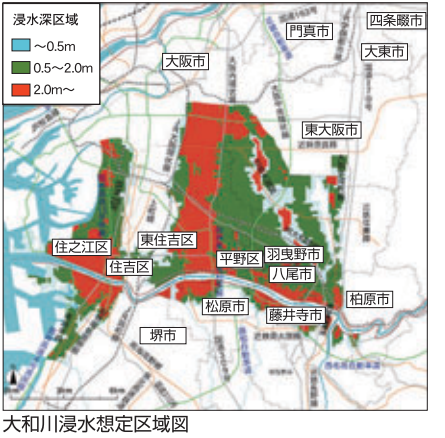
淀川や大和川では、万一破堤した場合の浸水被害を想定した『浸水想定区域』を公表しており、今後、順次スーパー堤防を整備し、こうした浸水被害を軽減します。

また、近年の集中豪雨等の頻発による洪水被害の増加等を踏まえ、堤防の詳細点検を近畿管内の直轄・補助河川で実施します。その結果、所定の安全性が確保されていない区間の堤防については、順次



淀川浸水想定区域図

堤防質の強化対策を実施します。平成18年度は、都市再生プロジェクト関連の大和川線地区、淀川左岸の海老江、高見地区等を関係機関と連携し、重点的に高規格堤防整備を推進します。



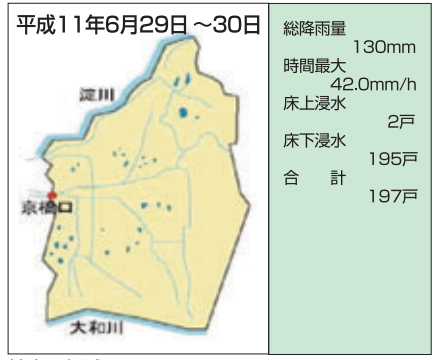
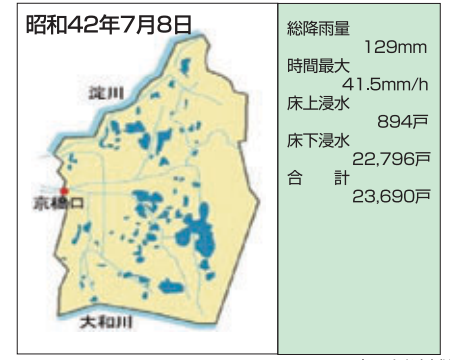
大和川浸水想定区域図

#### 浸水対策事業

##### 〈寝屋川総合治水対策事業〉

寝屋川流域は、その約80%が低地であり、急激な都市化の進展から保水機能・遊水機能が低下しているため、これまでに幾度も浸水被害に見舞われてきました。こうした浸水被害を防ぐため、特定都市河川浸水被害対策法に基づき寝屋川流域水害対策計画を平成18年2月に策定し、

地下河川と下水道雨水増補幹線を一体的に整備するなど総合的な治水対策を推進しています。大阪市東南部において、南部地下河川(平野川貯水池)の供用と下水道管接続により、市街地の雨水排除が図られ、浸水被害の大幅な減少を可能にしました。



寝屋川流域浸水被害の軽減

#### 〈三宮南地区〉

三宮南地区は、過去から台風による高潮と降雨の影響で国道2号などの低地盤部において浸水被害が発生していましたが、平成16年に来襲した台風が、大潮時期と重なって広範囲に渡り床下浸水や道路冠水による通行止めが頻発し、早急な対策が必要となっています。

平成18年度は、本格的な浸水対策として雨水ポンプを築造するための用地取得と雨水遮集管の整備に着手する予定です。



国道2号冠水状況

### 貴重な文化財と伝統的な街なみの災害からの防御

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重  
東山・清水地区

世界に誇る貴重な文化財とその周辺にある伝統的な街なみを災害から守るため、震災時に水道消火栓が使用できなくても、市民や消防隊等が有効な消火活動を行うことのできる新たな防災水利を整備し、地域の防災力を向上させることにより、地域の安心・安全なまちづくりを進めています。

平成18年度は、事業着手前に必要な埋蔵文化財調査や防災水利モデル整備として送水ポンプ、消火設備用(耐震性)配水管、消火栓設備などの整備を行います。

地域生活基盤施設 [消火設備用配水管整備]  
地域生活基盤施設 [消防隊用消火栓整備]  
地域創造支援 [市民用消火栓整備]  
地域生活基盤施設 [送水ポンプ整備]  
地域創造支援 [耐震性貯水槽設計]  
地域生活基盤施設 [地域防災施設整備]  
地域創造支援 [埋蔵文化財調査]  
地域創造支援 [整備検討調査]  
まちづくり活動推進 [文化財市民レスキュー等支援]

平成18年度 まちづくり交付金(東山・清水地区)

平成18年度 まちづくり交付金(東山・清水地区)